

大すぎなしとおおむすびとぼくの楽しみ  
東広島市立三ツ城小学校二年 古田英大  
ぼくは、しとおおむすびが大すぎです。おな  
かがすいたら、お母さんに、  
「しとおおむすびを作って！」とおねがいしま  
す。しとおおむすびは、ごはんのあじがよであ  
かります。あいつけのりと一しよにたべると  
さい高においしいです。しとおおむすびをたべ  
るのがとても楽しみです。

おにぎりができるまでの楽しみも三つあり  
ます。一つ目は、せい米です。お母さんがけ  
ん米でお米を買ってくるので、コインせい米  
ぎでせい米しています。せい米すると、茶色  
っぽかったお米がまっ白になり、ふやふやぬい  
だみたいです。ぼくと弟は、白くなっただお米  
を米ぶくろに入れてお手つだいをします。ペ  
ダルを足でふくと、上にたまっただお米が、ザ  
ーと落ちてくるのかとても楽しいです。  
楽しすぎて、いつも弟ときょうそういなりま  
す。せい米したばかりのお米はとてもあ

たかくて、いりにおいがします。

「ちよっとさお母さま！ たべていいの？」

「いつも弟と一しょにさわったりつまみぐいをします。とつても楽しいです。ごはんとはちがひにお米はかたいけどおいしいです。ごはんはそんなにかたいお米が、ふんわりごはんになるのは、とつてもふしきです。」

二つ目は、お米をとぐことです。お母さんががじじかんがあるときは、お米をとがせてくれます。白くにごった水は、早くながすのが

おいしいごはんにするコツです。あらっていると、だんだん水がきれいになつて喜んでいきます。

三つ目は、お米のひんしゅです。ぼくの家では、あきらまん、こしひかり、ヒノヒカリ、このよかんをたべています。お米のひんしゅがかかるとあじもわかるので、つぎはどんなあじかあくあくします。

これからも、しおおむすびを楽しみながらたくさんたべたいです。